

平成三十一年度新入職員歓迎式理事長訓示（平成三十一年四月一日）

○理事長の児玉です。

○本日、皆さんのような夢と希望に満ちた前途有望な方々を、原子力機構の新しい仲間としてお迎えすることができたことは、私たちにとって大きな喜びです。役員一同、お祝いを申し上げますと同時に、心より皆さんを歓迎いたします。新入職員歓迎式を始めるにあたり、皆さんへの期待と、職員として心に銘じていただきたいことを申し上げます。

○本日、皆さんは、それぞれに喜びと不安の入り混じった気持ちで、ここにおられることと推察しますが、皆さんが配属される職場においては、計り知れない可能性を秘めた新戦力の到着を、大きな期待とともに、首を長くして待っています。

○組織が継続して発展するためには、常に新しい人材の投入による活性化が求められます。特に、原子力機構のような知の創造、科学技術の探求を必須とする研究開発機関においては、皆さんのような若い力の絶えざる注入が欠かせません。

○原子力機構は、我が国唯一の総合的原子力研究開発機関であります。非常にやりがいのあるテーマ・業務が数多くあると思います。皆さんの新しい発想、エネルギーにより、これらが飛躍的に進むことを期待しています。

○さて、原子力機構は、独立行政法人の中でも研究開発に特化した、「国立研究開発法人」に区分されています。この「国立研究開発法人」の第一目的は、「研究開発成果の最大化」であり、一定の自主性が認められる代わりに、適切な目標設定及び評価を通して、「適正、効果的かつ効率的な業務運営の確保」、「課題解決などのアウトカムの創出」、「国民に対する説明責任」などが求められます。

○このような目的に沿って、私たちは研究開発成果を創出すること

はもちろんのこと、国際競争力を強化しながら、種々の政策的課題を解決し、我が国の科学技術の水準の向上に貢献しなければなりません。

○具体的に、現在、原子力機構が取組んでいる重点分野を挙げると、

- ┆東京電力福島第一原子力発電所事故への対応、
- ┆原子力の安全性向上のための研究開発、
- ┆高速炉・新型炉、及び核燃料サイクルの研究開発、
- ┆放射性廃棄物の処理・処分技術開発、

です。

また、これらの共通基盤にもなる、

- ┆基礎・基盤研究、

も欠かせません。原子力機構は、これらに関する課題解決に責務を負っています。

○そこで、原子力機構の一員となる皆さんに、このような課題解決に向かっていく上で、二つのことを申し上げたいと思います。

○まず、ひとつ目は、原子力機構のミッションである「原子力の未来を切り拓き、人類社会の福祉に貢献する」ことを心に刻んで職務に取り組んでいただきたいということです。

○これから各職場に配属される皆さんには、様々な業務が待っています。その業務一つ一つがこの「原子力の未来を切り拓き、人類社会の福祉に貢献する」ことに繋がっているものと意識して下さい。そして、その使命を果たすため、全職員が共有すべき信条として、「高い志 豊かな発想 強い意志」という三つのスローガンを掲げています。皆さん一人ひとりが、夢や希望を持って今日の日を迎えたことと思います。この高い志、豊かな発想、強い意志を持って事に臨めば、必ずやその夢や希望は達成できるものと確信しています。

○また、原子力機構がミッションを達成するためには、組織としての知的能力、つまり組織IQを高める必要があります。皆さんには、組織の一員として自ら問題を見つけて、関係者と協力して問題を適切に解決していくことを期待します。

○二つ目は、今の気持ちを忘れることなく、社会人として、原子力のプロとして、常に未知の世界にチャレンジしてもらいたいということ事です。

○原子力の研究開発は、必ずしも順風満帆ではありません。特に、2011年3月の福島第一原子力発電所の事故以降、原子力を取り巻く環境は非常に厳しくなっています。そのような社会環境の中、原子力機構で働こうと決めた皆さんのその決意は、とても心強いものと感じます。どうか、今のその気持ちを忘れることなく、新たな分野に果敢に挑戦し、困難にも勇気を持って立ち向かっていただきたいと思います。

○また、仕事を進める上では、周囲からの信用が第一です。信用のない者に仕事を任せることはできません。「築城三年、落城一日（いちじつ）」と言うとおり、信用を築き上げるには時間がかかりますが、それを失う時は一瞬です。皆さんもその事をしっかりと意識して、日々、信用を積み重ねることができるよう、誠実に職務にあたって下さい。

○最後になりますが、皆さんは、原子力機構の新入職員として、内外から大きな期待と注目を浴びています。そのことを認識し、社会人としての自覚をもって、常に良識ある行動に心掛けて下さい。また、健康に十分注意を払いながら、皆さんの持てる力を存分に発揮し、職場にフレッシュな風を吹き込んで下さい。

○それでは、皆さんのこれからの「活躍を心から祈念して、私からの言葉とさせていただきます。

以上